



# 東京会工会だより No.2

平成10年4月20日発行 東京会工会事務局 川崎市中原区上平間2079-1(ニッポ一産業(株)内) TEL 044-544-0811

## 芋煮会の流れから



東京会工会会長

赤 津 仲 雄

(25年C卒)

陽春の候となりました。会員の皆様には、ますますお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この東京会工会だよりも、はや二回となりましたが、今回は皆様のお叱りを覚悟の上で、挨拶としては奇異感のある表題の事を考えてみたいと思ひます。

これまで、永続して来た同窓会の流れの中で同級会は楽しいが、同窓会はどうも……と云う話が幾度となく云われて参りました。この辺に問題のかぎがあるような気がしてなりません。

室井前会長は「縦社会の無意識な序列が存在し、これが進行発展の妨げになるならば……」、更には「会の持続的発展には、年代の欠如があつてはならず、常に隆々たる流れのような、状況こそ望まれ、時代のギャップ、思考のギャップがあつてはならない」と。

この点が当会の基本方針、「長い歴史と、良き伝統を守る事を第一として―時代の流れを組入れた、若い新しいエネルギーを結集して行く―」となるまで、幾多の議論と時間をついやして誕生したわけでありませぬ。

しかしここでは難しい理屈を述べる気はさらさらありません。同窓会が縦

の社会、同級会が横の社会と単純にとらえて見るなら、この両者が一緒になつたイベントが、すでに東京会工会にはあつたのです。

これが芋煮会です。先輩も後輩も同級生も奥さんも子供も、そして、孫も全部一つの輪になつて、上下もなく、なんの気遣いもなく、わいわいと盛上がる姿……。参加された皆さんは、すでに周知の楽しい雰囲気です。

とすれば、同窓会の姿を芋煮会を原点として、とらえたとしたら新たな視野が開ける気がしてなりません。真に大胆な発想ではありませんが、会の繁栄諸策が、なかなか思うように行かず、難行苦行の現状からみて、この考えを捨てる訳にはゆきませぬ。

私共の同級会は、動きは活発で、ほとんど全員参加が続いておりますが、それでも奥さん等の同伴は実現していません。奥さんも孫も参加させたくなるような同窓会、今まで尊厳の中にあつた総会の時にも、孫を連れて……。そんな姿を想像するとき楽しさにあふれた光を見るような気がします。

夢も見るのは容易であります。これを現実しようとしたら、そうそう簡単ではなく、多くの試行錯誤を伴う困難な作業となるでしょう。東京会工会八十有余年の長い伝統の重みを考えるとき、この大胆な発想が、会の将来にどんな影響をもたらすのか、まずそれが、もっとも大きな不安要因であります。

しかしながら、今までやった事がない、他にも前例を聞かないと云う、この問題を考えるとき、先駆者の誇りと、自負心を支えに、勇氣と決断の勝負となつて行く事でしょう。毎年、くり返されている活動の中で、会運営のマンネリ化をいつも恐れている私たちにとって、それを吹き飛ばすカンフル剤になればとも念じます。

これから、多くの時間を掛けて研究してゆきたいと思ひますが、会員の皆様からも、どしどしご意見をお寄せ下さいますようお願いしております。

東京会工会の発展を祈念



東京会工会幹事長

金子昌輝

(32年A卒)

会員の皆様にはお変わり無き事と拝察しております。

今ではすっかり定着してしまつた「パブル」と云う言葉は誰が最初に使つたのでしょうか。あまりにも急成長してしまつた現代社会に斯くも驚くべき落とし穴があつたのです。

これ迄、国民総中流社会と称し、物余りの結構贅沢な暮らしをしてきましたがその付けなです。それでも初めは余つた贅肉を取つていけば良いと言ふ気持ちでしたがそんなに易しいものではなかつたのです。且つての恐慌や戦後の物不足のあの惨めなくらしが思い出されるようです。既に落とす贅肉もなく新聞紙上でも、倒産、失業、強盗、自殺等暗いニュースが増え、株も上がらぬ先行不透明の現状と化してしまつたのです。

しかし、そう言う時こそ初心に戻り真に「何を成すべきか」を考え直さねばならぬのです。落ちついて事や物に対処する「心」を養つていかなければなりません。人や物といった欲望から解放され、文化面や自然へと目を向けていかなければなりません。その様な時に縁ある者どうしが集える場も、大切でしょう。個人に捕らわれず、

拡大した社会にも身を置き気分転換する「無駄の効用」も必要なのです。

お陰様で東京会工会も行事予定を定着化する事で各自が日程を調整できる様になり喜ばれております。

役員新年会、卒業式参列を二月に行い、以後総会六月、ゴルフ会九月、芋煮会十月と毎年同じ日と定めております。因みに今年の総会は六月二十七日第四土曜日十二時より上野精養軒という事になります。いろいろ行事のある中でひとつ位は参加しようという会員もおります。年に一度でもお互いの消息が知れ結構な事と思ひます。なぜなら、この会報の主目的は、会員の消息にあるからです。

扱て、最後になりましたが、会津工業高校も、平成十四年度には、創立百周年を迎える事になりました。この不景気と思われませんが、だからこそこんな時にこそ、今、学校側で百周年記念事業計画を推し進めております。各地区会工会もこれを支援すべく、事業委員会の設置に参画し案を練つている所であります。平成十四年に向かつて地元同窓会、PTA、学校が一同となつて連日検討している事業計画は、以後機会あるごとに報告していきたいと思つております。

今後共、会員各位におかれましては、鋭意ご精進成されますように、又、会工会の益々の発展を心より祈り皆様方の更なるご協力をお願いしたいと思います。



土津神社のこと

岡村進

(32年E卒)

昨年十一月郷里猪苗代町にて、長瀬小学校時代のクラス会と少々早めの還暦祝いを兼ねて集いました。

その際、猪苗代町磐梯山麓の土津神社に参拝いたしました。意外にも、神社の由緒について知つて知っている者が少ないことに驚きました。それで参考までに記します。

土津神社の御祭神である靈神・保科正之公は、二代將軍徳川秀忠の第四子、三代將軍家光の弟で、高遠藩藩主・保科正光の養子であり、寛永二十年会津に封ぜられ会津松平の始祖となつた。晩年にいたるまで神道を尊信し、吉川惟足を師として専ら卜部家神道の伝を学び、道の奥義を極められた。

寛文十一年、公は惟足から靈号を「土津」と奉られた。土津の意は、惟足によると、土(つち、はに)は宇宙構成要素の根元であり、万物の始めと終わりであり、信実の主体である。その道理を公は体得された。また公は、会津の領主であるから「津」の字に無関係ではない。故にこの二つから「土津」と申し上げたといつてゐる。言い替へれば、宇宙の万里を極められた会津藩主の意といつてよいのである。

寛文十二年八月二十一日、公は自ら猪苗代に参られ墓地を定め、『我が身はここに』と家臣に命じられ、そして『万代と祝ひ来にけり会津山高天の原にすみかもとめて』と詠まれた。同年、江戸に戻られた公は容態すくねず、老臣・友松氏興を病床にお呼

びになり葬事奉行を命じられ、戸板真五郎を副役とし後のことを託された。同年同月十八日靈神ご逝去。そこで、友松氏興は公の遺命の通り神道の礼を尽くし、惟足を招いて葬事を行わせた。

土津神社は、神殿・回廊など奥日光または東北の日光といわれるほど壯麗な社殿であつたが、明治の戊辰の兵火で社殿がごとごとく消失した。今の神殿は、明治十三年七月の造営に成るものである。

以上は土津神社縁起書の一部抜粋である。ここからは余談の裏話ですが、秀忠は大変な恐妻家で、奥方の母親は織田信長の妹で美人の誉れ高いお市の方、浅井長政との間に三人の女の子が生まれて、長女は秀吉の側室となり、やがて淀君となります。その三女が、秀忠の奥方お江の方で、すごいやき餅やきのヒステリー、江戸城大奥は女性がうようよ、少しでも侍女にセクハラでもするとスパイ網を張つて、秀忠はお江の女房から叱責される。そこで広い城内の庭のしげみでただ一度だけ浮気をします。その一度で懐妊して慌てた秀忠は、足利の十五万石の大名に託して男子が誕生する。その男子がなかなかの君主となり松平姓をもらひ会津藩主となります。この松平の末裔で松平容保は幕府の命で京都守護職となり、配下が討幕の志士たちを弾圧した。

そして、戊辰の戦いが始まり、薩長は京都から江戸に快進撃し、さらに会津藩を総攻撃する事になり、そこで白虎隊の悲劇も生まれます。

秀忠、庭での一度の浮気がなかつたら、会津の悲劇はなかつたかのではないかと思われまふ。

会員の皆さん、浮気には充分ご用心を！

19文庫  
x  
28行  
68k  
x3段  
↓  
265225  
-190  
2862

# 会津工業高校の近況

福島県立会津工業高校

教頭 小林 憲 一

## 一、三年に一度の学校祭(会工祭)を開催

第37回会工祭が10月24日から3日間開催された。初日は朝から開会式を行い、引続いて生徒会企画による催物があった。午後からはブラスバンドを先頭に、各学科の衣装による市内パレードがあった。25日の午後と26日は一般に公開された。内容を省みると特に充実していたのが、生徒会が企画した各種のイベントであった。校内簡易口ポット競技大会(クラス対抗)、職員との腕相撲、クラス対抗クイズ・バトル等内容がユニークなものばかりであり、職員と生徒が一体となり盛り上がった。またPTA主催のバザーも好評で前回は上回る利益を上げた。この利益金により校内3箇所(飲料用の冷水装置が設置される予定である)。

生徒は勿論、保護者、教職員がそれぞれアイデアを出し合い、一丸となって成功させた学校祭であり、終わってみると近年にない成就感の残る学校祭であった。

## 二、創立百周年記念事業への準備を開始

5年後に創立百周年を記念し、記念事業を遂行するための準備委員会が同窓会と学校の双方の代表14名により昨年12月に結成された。爾来8回にわたり会合を重ね以下

会津工業高校百周年記念事業実行委員会会議風景



のような百周年記念行事・記念事業(案)を行うという原案をまとめた。

### (1) 記念行事

① 記念式典 平成14年10月下旬

### (2) 記念講演会

① 同窓会館の建設(延面積500.0㎡位)

② 各種資料の整理・整頓・整備

③ 学校沿革史の編集・発行

④ O B の作品展

⑤ 学校内LANの設置

⑥ 同窓会会員名簿の刊行

⑦ 記念CD、テレホンカードの作成

### ⑧ 染色型紙の整理整頓

この事業を遂行するために「福島県立会津工業高等学校創立百周年記念事業実行委員会」を平成10年1月に組織し、今後の準備はこれに全て委ねられる。

## 三、今年も厳しい就職戦線

11月25日現在の求人企業数は712社(3年度 2580社、4年度 2380社、5年度 1703社、6年度 990社、7年度 735社、8年度 693社)であり、採用内定者は189名(県内101、県外8)、公務員内定7名、大学(推薦)進学内定者17名(短大3名を含む)、専修・専門学校進学内定者は29名である。今年の求人状況の特徴は

① 平成3年度の求人企業数2580社から減少する一方であったが、依然として地元企業数693社より若干増加が見られた。

② 求人側の希望は量より質の時代に突入し、求める生徒が獲得できるまで何回でも試験を実施する企業が増えた。

③ 新規の中小企業からの求人が増加している。

④ 県外の企業にあつては求人数の増加が見られるが、依然として地元企業の落ち込みが続いている。

⑤ 学力を重視するとともに、自己の考え方をまとめこれを表現する能力を要求する企業が増えた。

## 四、インターハイ・大阪国体でも活躍

本年度のインターハイや52回大阪国体秋

季大会でも、新体操・バトミントン・ボクシング・柔道水泳競技等で本校の職員や生徒が活躍した。

## 五、校舎の大規模改造工事が進行中

今年も、昨年度の残り半分である南1棟の内部の大規模改造工事(西側)が始まった。平成7年度にはこの棟の外装の大規模改造工事が終わっているため、来年3月には南1棟の校舎は装いも新たに変わるが、現在は進路指導室や4つの教室を移動したり、大会議室が使えなくなったり、科学工学科の実験実習室が使えなくなったり大変な不便を来している。来年度以降も本館や北各棟の外装や内部の大規模改造工事が年度順に連続して予定されている。数年後には本校の校舎は装いを一新することになる。



▶ 完成間近のプール工事

▶恒例の鏡割りと  
それを見守る会員一同



総会のあらまし



田場川 善雄  
(27年M卒)

平成九年度東京会工会総会は六月二八日恒例により上野の杜の高台にある精養軒で開催されました。六月としては、めずらしく台風が襲来し雨模様为天候でしたが、この日を心待ちにしておられた会員の方々が次々と到着され、会場では歓談の輪が出来ました。

総会は板橋副会長の開会の言葉で始まり物故会員に対する黙祷と校歌斉唱のあとと赤津会長挨拶があり、議事に入りました。

一、平成八年度会務報告

一、平成八年度会計報告

一、平成八年度事業計画及び予算案

議題について金子幹事長、荒井副幹事長、芳賀幹事より説明のあとと監査報告があり満場一致で承認されました。又、平成九年度より年会費をいただく件は会員の皆様のご理解により順調に推移していることと、東京会工会だよりを発行出来たことの報告がありました。

引続き第二部の懇親会に入り五十嵐副幹事長が進行係を担当、ご来賓の郡司校長、佐瀬東海会工会会長のご祝辞のあと、ご来賓と役員による会津銘酒の末廣樽酒の鏡割りに続いて中田相談役の音頭で乾杯を行います。

祝宴に入りました。

今年の余興は盛沢山で、先ず福島県湖南出身のキングレコード歌手北川浩二さんが会津の松五郎などの歌謡曲とサイン会を行い、続いて会津民謡研究会社中と会津太鼓保存の会の方々により会津目出度、会津松坂、会津餅つき唄などの民舞のあとと会津磐梯山の盆踊りがはじまり太鼓の響きに合わせ踊りの輪が出来ました。最後は会工健男児の応援を全員で力強く歌い三時過ぎに盛会裡に散会しました。

ご存知の通り総会是在京同窓生が母校を想い旧友と語る年一回の集まりです。東京会工会がますます発展するように今年度の総会にも皆様お誘い合わせの上多数ご出席されますことを願っております。



▶会津民謡研究会社中による会津松坂の熱演と会津磐梯山の歌に合わせ盆踊りに興じる会員の皆さん



▶応援歌合唱に力が入る諸先輩方



芋煮会

伊藤 孝行 (38年M卒)

平成九年十月十九日

小田急線登戸の多摩川 茶店大黒屋 東京会工会の有志並びに同伴家族 合わせて七十余名の参加で大盛況!

当日は、朝から晴天に恵まれ、出足も良く開始時間には出席予定者の殆どが集合し、金子幹事長の挨拶で芋煮会がスタートした。今年も初参加の方も六名あり、自己紹介を兼ね近況報告をしていたいただきました。お子さん、お孫さんを連れて参加された人もいて、和やかな雰囲気でした。

芋汁の他、炭火での焼き鳥、強清水のニシンの天麩羅、饅頭の天麩羅、寿司など腹いっぱい食べ、大いに飲み、語り、出席者全員が満足したようであった。

腹がくちくちになると、恒例になった「ピンゴゲーム大会」の始まりである。五十嵐副幹事長の特徴ある名司会ぶり(会津弁)に全員が同調し、目はカードに集中するという具合でした。

しばらく歓談した後、東京会工会の旗の前に記念写真を撮り、校歌、応援歌を合唱し芋煮会を締めくくった。こもこも来年の再会を約束し散会した。

先輩、後輩、同級生それぞれ親睦をより深くした一日であったと思います。まだ一度も参加されたことのない同窓生のみならず、次回の芋煮会には是非ともお出かけ下さい。



第8回東京会工会ゴルフ会成績表

H 9. 9. 10 大利根カントリークラブ

西 アウト 9:06 スタート 快晴

組	NAME	卒・科	OUT	IN	T	HC	NET	RANK	次回HC
1組	渡部 義博	28A	51	49	100	24	76	10位	24
	棚木 紹夫	35K	43	48	91	22	69	5位	①9
	五十嵐昭夫	35A	54	49	103	18	85	B.M.	18
	高橋 富男	43A	46	48	94	36	58	準優勝	①7
2組	赤津 仲雄	25C	49	46	95	17	78	11位	17
	秋山 利光	31C	57	53	110	新ペリ731	79	14位	③6
	鈴木 八郎	32C	49	45	94	36	58	優勝	①5
3組	玉川 進	33K	57	60	117	36	81	19位	36
	金作 等	31E	42	43	85	11	74	9位	11
	岡村 進	32E	47	48	95	10	85	B.B.	10
	武藤 政明	47K	58	50	108	新ペリ729	79	13位	36
4組	柴山 景介	20K	56	60	116	36	80	17位	③6
	小林 義明	38A	47	53	100	16	84	21位	16
	小池 清	34T	43	39	82	8	74	8位	8
	風間 洋治	42E	51	50	101	32	69	6位	②9
5組	角田 新作	31A	45	49	94	新ペリ714	80	16位	②2
	佐藤 要三	28A	52	46	98	16	82	20位	16
	中丸 正弘	31A	42	36	78	新ペリ716	72	7位	⑥
	荒井 和栄	40A	58	57	115	36	79	15位	36
6組	国文 賢一	32C	45	45	90	29	61	3位	①6
	水上 強	47M	49	51	100	19	81	18位	19
	伊藤 孝行	38M	43	41	84	20	64	4位	①2
	大矢 隆	31A	49	48	97	19	78	12位	19

※○印は、HC改定者

ドラコン 風間(2)、国分、水上  
ニアピン 伊藤、国分、小池、岡村  
BG 中村

第八回ゴルフコンペ 思いがけなく優勝して

鈴木 八郎 (32年C卒)

当日は、それほど暑くもなく、風もなく、ゴルフには最高のコンディションの中、総勢6組23名の会員の参加を得て、幹事さんからの諸注意、写真撮影の後、9時にスタートしました。朝一番の第一打はOB、池、ラフと『ボールの行方は球に聞いて!!』と先の思いやられる第一打でした。

ゴルフはハンデがあるから、うまい人も、うまくない人もハンデを生かしながら対等にゲームができるスポーツであり、更に、

良いスコアで終われば、また、次回もっと良いスコアを出そうと楽しみがわいてくるものだ。私は今回で三回目の参加でした。前回のデータから戴いたハンデキャップが多かったため、今回予想もなかった優勝がこぼれ込んで、非常にラッキーでした。今回のスコアは自分なりに最高のスコアになっていたので満足した一日でした。私よりもグロスの良い諸兄には申し訳なく思っています。そして、一緒に回っていたいただいた赤津会長、秋山先輩あつての結果で心から感謝しております。各人それぞれのスコアに、次回こそは最高のスコアで回ろうと反省を含めて和気藹々のうちに散会しました。幹事のみなさんありがとうございます。また、次回も楽しみにしています。

## 平成9年度東京会工会総会出席者

日時：平成9年6月28日(土) 場所：上野精養軒

(敬称略)

## 〔御来賓〕

会工同窓会会長 吉田 一栄(20K)  
 会津工業高校校長 郡司 正孝  
 会工同窓会幹事長 手代木利夫(28A)  
 同窓会事務局 鈴木長九郎(35C) 梨子本 傑(41K)  
 近畿会工会副会長 大島 武二(20C)  
 東海会工会会長 佐瀬 一信(26E)  
 郡山会工会会長 田代喜伊市(13T)

## 〔会 員〕

T 16 押山登喜男	K 34 小林 智	C 31 秋山 利光	M 40 鈴木 邦男	A 26 渡部 保男
24 室井 忠六	34 荒井 士郎	34 遠藤 信孝	40 東海林輝雄	29 杉本 次雄
24 板橋 桂	47 武藤 政明		40 杉原 努	31 大矢 隆
27 村岡 司国		M 17 中田 宏司	47 水上 強	31 角田 新作
34 石綿 弘	C 09 二瓶 正	19 稲村 和夫		31 酒井 兼三
34 小池 清	13 菊池 三郎	20 穴沢 弘好	E 26 吉田 忠	31 中丸 正弘
34 大島 諒三	13 小松 倉蔵	23 諸橋 栄輔	26 菅家 忠平	32 金子 昌輝
35 福田 弘司	20 阿部 高明	24 渡部 幸男	26 一ノ瀬靖夫	35 五十嵐昭夫
	23 秋山 勇	26 佐藤 芳治	27 田村 万司	35 遠藤 克弘
L 20 大川原 薫	23 常木 浩二	26 木村 孝	29 坂内 寿	35 天野 賢
31 秋山 常雄	24 佐藤 和夫	26 林 俊彦	29 千葉 公胤	35 白井 寛二
35 芳賀 勝義	24 萩原 進	26 三瓶 実	30 青木 幸平	36 永井 克也
	24 蓬田 光雄	27 池田 節雄	31 鈴木 忠恵	39 浅井 国明
K 13 小松原 将	25 三浦 正裕	27 吉田 初彦	32 岡村 進	40 荒井 和栄
20 岸 傳三	25 石見 勝雄	27 田場川善雄	38 梨子本 紘	40 高橋 五郎
20 万澤 和礼	25 歌川 晴雄	29 佐藤 武	42 風間 洋治	40 稲垣 力
20 高橋 民雄	25 赤津 仲雄	29 武藤 正義	42 佐瀬 彰	
26 関本耀三郎	27 秋山 利喜	29 鈴木 六郎	42 田中 健一	(同伴者2名)
33 玉川 進	29 遠藤 篤	38 伊藤 孝行		C 29 遠藤 様
33 渡部 善七	29 岡島 文弘	39 古見 四友	A 25 石原 貞夫	M 26 木村 様

## 平成9年度芋煮会出席者

日時 平成9年10月19日(日) 場所：多摩川大黒屋

T 16 押山登喜男	K 21 樽川 義夫	C 25 石見 勝雄	E 26 菅家 忠平
27 16 村岡 司国	33 加藤 修次	26 吉田 実	27 加藤 正彦
31 16 須藤 武義 他、1名	34 横沢 修		27 田村 万司
35 16 福田 弘司 他、1名	34 近藤 裕司	M 16 山田 定江	28 湯田 道夫
	34 堀田 耕	19 稲村 和夫	32 岡村 進
L 20 大川原 薫	34 荒井 士郎 他、2名	20 穴沢 弘好	
35 高木 佑	35 神林 宏 他、1名	24 慶徳 一郎	A 25 石原 貞夫
35 芳賀 勝義 他、1名	43 山田 利廣 他、1名	25 高橋 敏夫 他、1名 小人2名	28 渡部 保男 他、1名
39 佐藤 功 他、1名		24 27 飯塚 家思	30 鈴木 清 他、2名
	C 9 安達 公彦	24 27 佐治 信男	31 大矢 隆
K 20 岸 傳三	9 山浦 徳春	27 川島 保	32 金子 昌輝 他、1名
20 高橋 民雄	23 秋山 勇	27 田場川善雄	35 五十嵐昭夫 他、1名
20 田場川興咲	24 古市 義男	27 橋本 修	39 芳賀 進
20 柴山 景介	25 原田 四郎	33 大澤 賢二	39 成田 光雄
20 赤羽 恒雄	25 歌川 晴雄 他、1名	38 伊藤 孝行	(出席者71名)

# 平成9年度年会費納入状況

平成9年10月20日現在

卒年氏名	卒年氏名	卒年氏名	卒年氏名	卒年氏名
(総会当日納入・受付順)	S 30E 青木 幸平	S 32C 遠藤 啓司	S 26E 喜多見 孝	S 28E 平宮 健司
S 16T 押山登喜男	S 31E 鈴木 忠恵	S 35K 星 一雄	S 26M 佐藤 芳治	S 29E 千葉 公胤
S 24T 板橋 桂	S 32E 岡村 進	S 32E 菅家 忠佐	S 27M 川島 保	S 35A 滝沢 勇
S 27T 村岡 司国	S 42E 佐潮 彰	S 39E 長谷川俊道	S 29M 田場川 進	S 41K 高木 洋
S 34T 石綿 弘	S 42E 田中 健一	S 14T 花角 武	S 30M 山川 孝	S 29M 菊地 勲
S 24T 小池 清	S 29E 千葉 公胤	S 25M 古川 康夫	S 31T 小久保信久	S 27T 相田 武士
S 34T 大島 諒三	S 26E 一ノ瀬泰夫	S 22C 真鍋 常夫	S 47F 近藤 芳久	S 23K 水野 三郎
S 35T 福田 弘司	S 38E 梨千本 紘	S 30E 小林 泰彦	S 35L 芳賀 勝義	S 24C 新田 政一
S 20L 大川原 薫	S 42E 風間 洋治	S 40A 荒井 和栄	S 36K 加藤 邦男	S 25C 安井 広通
S 31L 秋山 常推	S 32A 金子 昌輝	S 16L 古川 保	S 36E 馬場 勇吉	S 50L 竜沢 望
S 20K 岸 傳三	S 35A 五十嵐昭夫	S 30A 角田 至啓	S 26C 鈴木 八郎	S 25K 麻生 登
S 20K 高橋 民雄	S 35A 遠藤 克弘	S 43K 山田 利廣	S 32T 星 富夫	S 46K 小山 菊二
S 26K 関本輝三郎	S 36A 永井 克也	S 29T 相田 一夫	S 33E 岩澤 毅	S 26M 林 俊彦
S 33K 玉川 進	S 39A 浅井 国明	S 47K 北澤 重行	S 24M 児島 正俊	S 34K 遠藤 伴宏
S 34K 小林 智	S 40A 高橋 五郎	S 33C 金川 和也	S 33C 桑原 優	S 39C 加藤 正夫
S 47K 武藤 政明	S 31A 酒井 兼三	S 29E 谷津 正二	S 28A 渡部 善博	S 31M 飯野 正夫
S 13K 小松原 将	S 25A 石原 貞夫	H 04I 秋山 尚	S 30A 鈴木 清	S 29C 永嶺 繁
S 20K 万津 和礼	S 31A 中丸 正弘	S 31A 山内 清隆	S 28E 大友昭三郎	S 42D 田井 茂
S 33K 渡部 善七	S 28A 渡部 保男	S 35A 白井 寛二	S 33M 後藤 徹	S 18T 酒中 治雄
S 13C 菊地 三郎	S 40A 稲垣 力	S 49K 平野 文一	S 33C 穴沢 利	S 31E 樋山 滋
S 13C 小松 倉徹	S 29A 杉本 次雄	S 23E 遠藤 文夫	S 45L 五十嵐儀策	S 28E 高橋 義弘
S 23C 秋山 勇	(振込納入・受付順)	S 27A 鈴木 茂	S 17K 林 貞吉	S 28M 高梨 高
S 24C 佐藤 和男	S 16T 室井 要	S 27E 小林 一夫	S 16L 岩渕 忠文	S 33K 渡部 貞衛
S 24C 蓬田 光雄	S 21L 鶴川平四郎	S 40C 佐藤 恭平	S 32C 国分 賢一	S 22C 小林 博
S 24C 萩原 進	S 13C 江川 義治	S 31E 佐藤 光	S 30C 鈴木 勲	S 34C 小松山国雄
S 25C 三浦 正裕	S 29C 鶴水 善彦	S 29C 田巻 忠雄	S 25C 大腰 久善	S 20C 笠間 主計
S 25C 石見 勝雄	S 29C 鶴水 善彦	S 38E 蒲生 吉夫	S 27C 白幡 健	S 29K 鈴木英三郎
S 25C 歌川 晴雄	S 15C 井上 真市	S 30K 佐藤 芳之	S 12C 児島 敬三	S 32E 大掘 孝雄
S 25C 赤津 仲雄	S 17M 波部 一恒	S 26M 小柴 昌夫	S 18C 小林 春洋	S 35E 柏木 宏
S 27C 秋山 利喜	S 35K 渡辺 又雄	S 31A 大矢 隆	S 25C 笠間 龍郎	S 43E 内川 義則
S 29C 遠藤 篤	S 21C 郡司 亮	S 23K 小林 泰夫	S 26C 吉田 実	S 42E 風間 幸作
S 31C 秋山 利光	S 30C 伊藤 善夫	S 17M 二瓶 文吉	S 16M 山田 定江	S 38A 小林 義明
S 23C 常木 浩二	S 27C 渡部 安三	S 38T 五十嵐 清	S 26M 太田 幸造	S 49C 小林 栄
S 29C 岡島 文弘	S 08C 塚原 迪郷	S 30K 村上 謙	S 26M 中野 義正	S 52C 川嶋 静雄
S 07C 二瓶 正	S 16C 長嶺 秋夫	S 29E 坂内 寿	S 27M 伊勢亀孝明	S 15C 原 忠伍
S 24C 白井 等	S 27M 大竹多喜雄	S 55E 大竹 清一	S 21M 須磨 時夫	S 21K 大竹 武
S 17M 中田 宏司	S 27M 坂内 哲雄	S 27M 江花 源吉	S 37M 湯田 常一	S 32A 宮森 健介
S 19M 稲村 和夫	S 14C 羽賀 末吉	S 35A 須貝 三郎	H 05M 物江 貴弘	S 43A 高橋 富男
S 20M 穴沢 弘好	S 24M 舟田 昭夫	S 27L 星野 健	S 36E 波部真樹勇	S 27E 清野 吉男
S 23M 諸橋 栄輔	S 34K 近藤 裕司	S 20M 鈴木 正則	S 30E 市東 良一	S 25L 穴沢 三郎
S 24M 渡辺 幸男	S 25K 高橋 敏夫	S 20C 安部 高明	S 34T 猪股 英吉	S 46K 小松山 力
S 26M 木村 孝	S 16T 五ノ井清一	S 29E 渡部 弘	S 24T 新田 治夫	S 54L 久保倉尚子
S 26M 三瓶 実	S 24M 渡部 侃	S 20L 山田 登	S 20T 佐藤慶之助	S 29M 物江 弥
S 27M 池田 節雄	S 20K 田場川興咲	S 27K 室井 正男	S 21K 小野 昭	S 35K 棚木 紹夫
S 27M 吉田 初彦	S 26M 秩父 清	S 26M 田浦寛一郎	S 42L 大竹 治郎	S 31E 金作 等
S 27M 田場川善雄	S 27M 佐藤 芳也	S 36K 古川 誠	S 04J 安藤 孝之	S 09C 安藤 公彦
S 29M 佐藤 武	S 43C 薄井 治	S 45F 佐瀬 隆夫	S 29A 宇野澤登喜男	(敬称略)
S 29M 武藤 正義	S 25A 坂内 六郎	S 34E 宮城 久雄	S 25M 苅谷 暉夫	
S 39M 古見 四友	S 28A 佐藤 要三	S 36E 森 昶	S 27M 橋本 修	振込納入 194名
S 40M 鈴木 邦男	S 52M 麻生 光春	S 26T 本間 至	S 18M 折笠 五朗	総会当日納入 78名
S 40M 東海林輝雄	S 28A 林 紹雄	S 20K 赤羽 恒夫	S 20M 塩原 兵八	計 272名
S 38M 伊藤 孝行	T 13K 鈴木 綱雄	S 27E 五十嵐 亨	S 22M 馬場 昭夫	
S 47M 水上 強	S 35A 天野 賢	S 35E 神 誠喜	S 25M 大東 祥喬	
S 29M 鈴木 六郎	S 31E 佐藤 光衛	S 25M 物江 之一	S 28M 木村 豊彦	
S 26E 吉田 忠	S 31A 角田 新作	S 34K 荒井 士郎	S 28M 梅宮 清志	
S 26E 菅家 忠平	S 26A 東条 武資	S 25A 森山 国男	S 30M 齋藤 秀	
S 27E 田村 万司	S 34T 酒井 俊孝	S 39L 佐藤 功	S 40M 杉原 努	

平成8年度 東京会工会収支決算報告書


(自 平成8年4月1日 ~ 至 平成9年3月31日) (単位: 円)


科 目	予 算	決 算	備 考
前期繰越金	228,626	228,626	
収入の部			
総会費	1,100,000	1,487,000	来賓9名 135名 x 11,000 他
雑収入(寄付金等)	150,000	304,000	
受取利息	8,000	25	
芋煮会費	250,000	266,000	66名 x 4,000(小2 x 2,000)
役員合同新年会費	220,000	208,000	26名 x 8,000
会工会だより 創刊寄付金	0	282,000	46名(役員限定)
収入合計	1,728,000	2,547,025	

支 出 の 部	予 算	決 算	備 考
総会費	850,000	1,108,442	精養軒
通信、印刷費	180,000	371,859	
事務用品費	10,000	10,000	
地方同窓会参加費	50,000	40,000	近畿、会津同窓会
芋煮会費	240,000	286,454	「大黒屋」商品代他
役員合同新年会費	210,000	184,950	「たいまる本店」
役員会会議室使用費	60,000	56,650	ふくしま会館 (11,330 x 5)
事務局費	30,000	30,000	
予備費	98,000	40,000	記念品代2件他、
『会工会だより』発行費	0	148,392	1,650部
東京会工会名簿作成謝礼	0	30,000	
支出合計	1,728,000	2,306,747	
翌期へ繰越	228,626	240,278	
東京会工会基金	541,851(さくら銀行定期預金)		

上記の通り報告致します。

平成9年4月10日

会計監事 関本耀三郎 

会計監事 大矢 隆 

計 報

東京会工会 元会長(名誉顧問)井上真市氏(76才)が療養中の所、去る三月十三日亡くなりました。  
佐藤勝治会長から井上会長へとバトンタッチされ、独自の井上カラーを出されまし

た。文章を書いては達筆で、よく会津会報等へ寄稿文を寄せられていました。会に対しては強い愛着を持ち常に会の行末を人一倍案じられていました。熱血情熱の人で酒席でも遺憾なく発揮されておりました。お顔が浮かぶようです。赤津会長が会代表として焼香致しました。  
滋に、慎んで御冥福をお祈りすると共に心よりお悔やみを申し上げます。

尚、評議員の泉富美男氏(24K)、一般会員の遠藤篤(29C)が昨年死去されました。併せて御冥福をお祈り申し上げます。

年会費納入のお願い

昨年度は別表名簿の通り、お振込194名、総会時納入78名の方々に納入していただきました。ご協力誠に有り難うございました。

尚、本年度も振込用紙を同封いたしましたのでご協力お願い致します。総会に出席される方は、当日受付にてお願い致します。

編集後記

○毎年、東京会工会総会の会場となります精養軒はご存知のとおり上野公園(通称上野の杜)の一角にあります。上野の杜には、動物園、国立博物館、科学博物館、西洋美術館、都立美術館、文化会館、芸術大学等多くの文化施設があります。

また、桜の名所でもあり、花の季節には延べ数十万人の花見客で賑わいます。総会出席の際、一度、散策されては如何ですか。○「東京会工会だより」はお陰様で第二号を発売できました。都合により写真をあまり掲載出来ませんでした。「総会のあらまし」に記してありますとおり盛り沢山のイベントで賑わいました。

本年度も会津民謡研究会社中の出演を予定しておりますので是非ご参加下さい。

荒井士郎  
(34年K卒)